

令和6年度 宮城県石巻好文館高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点		かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす				
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○		公民	○	○		数学	○	○		理科	○	○	
	国語による表現と理解の能力、伝え合う力を育成し、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにし、言語文化への親しみと理解を深めていく。				わが国及び世界の歴史・文化を尊重しながら、異文化理解を深め、国際理解の精神を養い、社会に主体的に貢献するような資質を養う。				現代社会の仕組みを考察し、先哲の考えを取り入れながら、他者を尊重し、主体的にグローバル社会に貢献し、行動できる力を育成する。				様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培い、数学の根拠に基づく判断力と問題解決能力を育てる。				科学的な思考能力を養成し、自然に対する理解を深め、人間と自然の関わりについて考えて自然の保護や災害への対策について考える能力を育成する。			
各教科指導目標	保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	○	○		家庭	○	○		情報	○	○	
	計画的に運動をする習慣や健康の保持増進と体力の向上に努め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。				生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、芸術文化の理解を深め、豊かな情操を養う。				外国語を通じて、異文化に触れ、多様な人と関わることで異なる価値観を尊重し、理解しようとする姿勢を育む。また、客観的に自己を分析し、自らの在り方、生き方を探究しようとする態度を養う。				人の一生を生涯発達の視点でとらえ、生活に必要な知識と技術を取得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。				情報の役割や影響を理解させ、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に主体的に対応できる態度を育てる。			
学年共通								かわかる	もどめる	はたす	各学年指導目標									
指導内容	① あいさつの励行		◎	○	1年	○ 集団における規律の理解を図る。 ○ 粘り強く諸課題に向かう姿勢と自分の意見を表現できる力を養う。 ○ 様々な情報を収集し、自分の将来について広角的な視野を育成する。														
	② 清楚な身だしなみ			◎		2年	○ 志望校研究をさらに進め、自分の進路目標を整理する。 ○ 基本的な生活習慣の定着を図る。 ○ 学習スタイルの深化を図る。													
	③ 清掃活動の徹底	○		◎	3年		○ 生活面では下級生の見本となり、学校のリーダーであることを自覚させる。 ○ 自学の時間の重要性を認識させ、その時間の確保に努力させる。 ○ 進路の研究と準備を進め、それぞれの希望進路を達成させる。													
	④ 朝学習・朝読書の徹底		◎			3年														
	⑤ 家庭学習の定着		◎	○	3年															
	⑥ 部活動への参加	○	○	◎		3年														
指導内容					ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かわかる	もどめる	はたす						
1年	SDGs探究活動	SDGsの概念を地域の発展、ひいては生徒自身の成長に結びつけられるように、事例研究などを通じて探究する力を育成する。			総合的な探究の時間		4～10月	23	○	○	◎									
	自己発見活動	SDGs探究活動や社会人講話を通じて、他者との関係や社会に生きる一員として何をなすべきか考え、今後の学校生活に役立てる。			総合的な探究の時間		11～3月	7	○	◎										
	進路探究	探究活動を通して、自己の興味・関心や適性に基づいて、自己の在り方・生き方を進路につなげ、進路目標達成の実力を養成する。			総合的な探究の時間		5～1月	11	○	○										
	2年次分野別課題研究(全体発表会)	2年次個人研究の発表会に参加することで、それぞれの学問分野の研究内容を理解し、2年次の基礎講習につなげる。			総合的な探究の時間		2月	4	◎	○	○									
2年	基礎講習	自分の興味・関心や日常の学習を専門的な学問領域へと深めていくために、職業や資格に求められる知識技能などを理解し、その学びのために必要となるリテラシーを身につけ、課題研究につなげる。			総合的な探究の時間		4～6月	7	○	◎	○									
	分野別課題研究	テーマ設定型研究活動を通して、自己の興味・関心の在り方をより顕在化させるとともに、より立体的な進路意識の醸成を図る。			総合的な探究の時間		6～2月	23	◎	○	○									
	大学教授講座	専門領域の講義を受講することにより、自己の適性を考える機会とし、さらに課題研究の充実や探究につなげる。			総合的な探究の時間		4・7月	4	◎	○	○									
	進路探究	課題研究を通して、自己の興味・関心や適性に基づいて、自己の在り方・生き方を進路につなげ、進路目標達成の実力を養成する。			総合的な探究の時間		4～3月	9	○	○										
3年	自己実現研究	2年次の課題研究をさらに探究する活動を行い、社会で求められる「思考力」「判断力」「表現力」を身につけ、将来にわたって学び続ける「甲斐ある人」となる。			総合的な探究の時間		4～10月	16	○	○	◎									
	進路探究	それぞれの進路に応じた課題を主体的に見つけその解決に取り組み、進路の目標を達成する。			総合的な探究の時間		4～12月	13	○	○										
											合計時数	117								